

令和6年第1回教育委員会議事録

開催日時 令和6年1月24日（水）
午前9時30分～午前11時15分

場 所 八潮市役所会議室4-1

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 教育総務部長 千 葉 靖 志
学校教育部長 猪 原 誠 一
教育総務部副部長 井 上 隆 雄
学校教育部副部長 高 橋 大 祐
教育総務課長 柳 町 貴 栄
社会教育課長 小 林 勝 已
文化財保護課長 高 山 治
学 務 課 長 山 内 修

指導課長兼小中一貫教育推進室長
和 田 進

学校 ICT 推進課長 松 本 啓 介
教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和5年第12回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

【議案第1号については教育長が当事者となるため、教育長は退室する】

議案第1号 [説明者 柳町教育総務課長]

議会提出議案に係る意見聴取について

八潮市長等給料特例条例の一部を改正する条例について、教育委員会の意見を求める。

令和6年1月24日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、八潮市長から「八潮市長等給料特例条例の一部を改正する条例」に対する意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

【教育長が入室する】

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育総務部長

(1) 令和5年12月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について教育委員会への投書は3件ございました。各課からご報告申し上げます。

●小林社会教育課長

社会教育課への投書は1件、内容は「ホームレスの方を図書館で見かける。衛生面も気になるため、スタッフは見かけたら声掛けや保護をした方が良い」とのこと、回答を要さない内容でした。市では、社会福祉課の方で年に2回、夏と冬の時期にホームレスの巡視を行っており、その結果を市内公共施設において、情報の共有を図っているところでございます。厳しい寒さを迎えたこの時期には、ホームレスの方が市内公共施設に出入りすることが多く見受けられます。特に利用者からは、ホームレスの方が発する臭いを気になさっております。私も見かけたところ図書館内においては、新聞を読むなど、長く居座ることはなく、他の利用者に迷惑をかける行為もありませんでした。また、図書館職員にあつては、適宜適切な対応を致しているところでございます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課への投書は2件、1件目の内容は「学校の一部を学習のために開放してほしい」というものでした。回答につきましては、子どもたちの安全確保、施設の鍵の管理、学校内の備品や子どもたちの所有物の管理などの面から解放は難しいと考えていることを回答し、市内公共施設の学習スペースを紹介させていただきました。

2件目の内容は「PTAに対し、個人情報の第三者提供を原則通り禁止してほしい」というものでした。回答につきましては、PTA活動に関する注意事項については、繰り返し校長会にて情報提供や注意喚起を行っていることと、今後も引き続き注意深く対応していくことを回答いたしました。

●猪原学校教育部長

(1) 市内小中学校の様子について

始業式の日から指導主事が中心になり、児童生徒の登下校の様子を見届けました。学校の先生をはじめ、交通指導員の方や保護者の皆様に見守られ、安全に登校していました。

3学期は中学校3年生にとって進路が決定する大事な学期となります。公立の入試手続きも変化しておりますので、学校には子どもたちに不利益が起きないように慎重に事務作業を進めていくようお伝えしました。

松之木小学校、八條北小学校、八幡中学校において、インフルエンザやコロナウィルスによる学級閉鎖が発生しておりますので、引き続き体調管理には注意したいと思います。

最後にジョイント教室につきまして、私は八潮中ブロックを参観させていただきましたが、先生方は子どもたちや保護者に対して安心して入学できるような優しい言葉をかけていました。他の学校では中学生が合唱を披露したところもあり、6年生にとっては憧れと希望を持ったジョイント教室になったのではないかと思います。

●柳町教育総務課長

(1) 令和6年度定例教育委員会の開催予定(案)について

先月もお知らせしたところでございますが、庁内の会議等の日程と重複する箇所が多数あったことから、全体的に日程を変更させていただきました。

大変申し訳ございませんが、再度日程をご確認いただき、都合の悪い日程がございましたら、教育総務課までご連絡いただければと思います。

(2) 新設小学校の整備について

入札結果につきましては、12月13日に開札が行われた結果、建築・外構工事の入札額が予定価格を超過したため不落となりました。

不落の要因につきましては、業者にヒアリングなどを実施した結果、主に次の4点となりました。1点目は人手不足により受注ができない状況であった。2点目は実勢価格との乖離が懸念される。3点目は工期内の竣工ができない可能性がある。4点目は年度途中の案件は基本的に入札に参加していない。というものでございました。

今後の対応につきましては、市南部地区における教室不足の対応として、これまで新設小学校建設用地の取得や建物の設計業務を実施してきたところであり、根本的に教室不足の問題は解消されておりませんので、改めて新設小学校の建設工事を発注いたします。

不落の要因を踏まえた対応につきまして、先ほどの不落要因の4点と紐づけて説明いたしますと、1点目の人手不足については市で対応できないことから、本案件に参加できる業者を増やし、応札確率を上げるようにします。2点目の価格については、最新の工事単価に入れ替えることや部分的に見積りを徴するなどし、できる限り実情に即した工事価格を積算します。3点目の工期については、できる限り工期を確保します。4点目の発注時期については、年度始めに発注できるよう進めていきます。その他として懸念事項として、能登半島地震による影響や、大阪万博、リニアの建設など大型の建築需要があるため人手不足が深刻という状況でございます。さらに、建築資材等の高騰もあり建築業界を取り巻く環境が厳しいという状況も踏まえる必要があると考えております。

工事の発注方法につきましては、前回と同様に一般競争入札により発注します。ただし、地方自治法において、入札が不成立となった場合は随意契約ができるとされています。しかし、国交省では原則このような契約は廃止しておりますので、適用させるためには十分な検証が必要と考えております。

開校時期につきましては、予算編成、工事の発注時期及び工事期間を勘案すると、令和8年4月の開校は極めて困難な状況でございます。また、公立小学

校という施設の特性上、年度途中の開校は不可能でございますので、開校時期を令和9年4月とさせていただきたいと考えております。

開校時期変更に伴う影響と対策につきましては、大瀬小学校と大曾根小学校の児童数から必要となる普通教室の不足が懸念されます。令和5年5月1日現在の住基に基づく児童数推計から見ると、大曾根小学校は既存教室数での対応が可能ですが、大瀬小学校は令和7年度までは特別教室の転用を行うことで不足を補うことができますが、令和8年度は普通教室が2教室不足する予定となっておりますので、今後の教室配置につきましては、特別教室のP T A・更衣室として使用している教室とP C教室を普通教室に転用し、これらの機能を現在建設中の図書室棟へ移転したいと考えております。また、開校時期の延期により図書室棟のリース期間を1年延長するよう考えております。

今後のスケジュールにつきましては、1月25日に大曾根・大瀬小学校運営協議会及びP T A正副会長へ説明、29日に大曾根・大瀬小学校保護者全員に通知を配布する予定です。発注スケジュールにつきましては、現在、業者に依頼し事業費の再積算を行っております。再積算が完了次第、速やかに事業費の予算化を行い発注、契約を進めていきます。なお、現在の事業費については3月議会において全額を減額補正いたします。

●小林社会教育課長

(1) 令和6年八潮市成人式について

今月8日成人の日に、令和6年八潮市成人式を挙行いたしました。式の様子と致しましては、全体を通して落ち着いた様子で滞りなく粛々と進めることが出来ました。マナー等も大変良好な状態であり、つつがなく執り行うことが出来ました。特に、式典終了後の恩師ビデオレターでは、心温まる恩師からのメッセージに成人者の喜ぶ姿が見られるなど、好評を博し、心に残る成人式になったのではないかと考えております。なお参加数は、863人の対象中597人の参加で、男性が318人、女性が279人、参加率は69.2%でした。

(2) 令和5年度生涯学習学校開放講座合同作品展について

こちらは、市内小中学校の皆様のご支援とご協力をいただき、今年度も学校開放講座を実施してまいりました。そして、その学習成果の一つとして、2月1日木曜日から8日木曜日までの期間により、八潮メセナ1階展示室において、受講生の作品や学習風景の写真等を展示した、合同の作品展を開催いたします。お時間の都合がございましたら、是非ともご見学いただければ幸いです。

(3) やしお市民大学・大学院の研究発表会について

資料にございますとおり、来月の2月3日土曜日、午前9時30分から正午まで、やしお生涯学習館多目的ホールにて、市民大学大学院の研究発表会を開催いたします。また、17日の土曜日、午後1時30分から4時まで、同じくやしお生涯学習館多目的ホールにて、市民大学2学年の自主研究発表会を開催いたします。市民大学において、仲間とともに学び、その成果を取りまとめたものを発表する場であり、市民大学での学びの集大成の場となります。市民大学の活動を広く知っていただくとともに、市民が手掛けるまちづくりの貴重な研究報告として、お時間の都合がございましたら、是非ともお聞きいただければ幸いです。

(4) 図書館を使った調べる学習コンクールの結果報告について

こちらは、児童生徒が図書館を利用し、日常生活や学習上の疑問点を解決する「調べ学習」を促進していくことを目的に、「八潮市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催致しましたので、本日は、その審査結果をご報告致します。お手元の資料をご覧ください。まず、小学生の部の最優秀賞には、大原小学校3年生の「鷹」、八條図書館長賞には、松之木小学校6年生の「意外と知らない太陽系について」、優秀賞2作品には、松之木小学校6年生の「心のバリアフリーってなんだろう」、市内在住で開智望小学校3年生の「ねこはどうしたら長生きできるのか」、がそれぞれ受賞されました。また、中学生の部の最優秀賞には、八條中学校2年生の「水素エネルギーとこれからの地球～資

源を未来に～」、八幡図書館長賞には、八條中学校2年生の「トマトの秘密」、優秀賞には、大原中学校2年生の「時間の流れとエントロピーについて」がそれぞれ受賞されました。なお、これら作品については、2月29日の木曜日まで各図書館において展示致しております。さらに、小学生の部と中学生の部の最優秀賞に輝いた2作品につきましては、公益社団法人図書館振興財団主催の同コンクールに推薦を行ったところ、それぞれ佳作を受賞されたことをあわせてご報告いたします。

●高山文化財保護課長

(1) 第50回企画展「和算と八潮の数学者」の開催について

今回の企画展では、わが国独自に発達した和算を取り上げます。

和算は、お金の計算や測量、暦など実用に基づく数学と、自然科学から離れ難問を追求する数学の二つの方面で発展した学問です。

展示会では、和算の歴史・文化とともに、市内に遺る和算資料を展示し、和算を学んだ八潮の「数学者」たちを紹介していきます。

明治時代以降の西洋数学に慣れ親しんだ現代人にとって非常に興味深い内容と思われまますので、この機会に是非ご観覧賜りたくご案内申し上げます。

(2) 体験講座「世界で一つだけの凧を作ろう」の実施結果について

12月の体験講座では、小学生に昔の正月遊びを知ってもらうことを目的に凧作りを行いました。参加者は13名でございました。

講座の企画・運営は淑徳大学の学生ボランティアを中心に行いましたが、児童と年齢の近い大学生が指導者ということもあり、普段の講座より和やかな雰囲気の中で進行したように見受けられました。

また、講座の内容も参加した児童にとっては大変満足のいくものであったようで、自らの手で作った遊び道具で遊ぶ楽しさを実感したようでした。

参加した児童にとっては、凧あげを通して昔の子どもたちの遊びや生活を学ぶ機会となったのではないかと考えております。

(3) 体験講座「つるし雛づくり」の実施結果について

1月の13日・20日の2回にわたって実施した体験講座「つるし雛づくり」では、一般成人14名、小学生2名の参加がございました。

つるし雛は、静岡県東伊豆地域や山形県鶴岡地域など局地的に見られるひな飾りで、今回は、飾り物の七宝まりの製作を行いました。

講座の中では、桃の節句の起源や変遷、地域性などを紹介し、伝統行事の継承を図りました。

また、当日の講師は、資料館を活動拠点とする市民文化サークルの方にお願ひし、市民と協働で事業を実施することで市民活躍の機会提供にもつながったものと考えております。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

給食費の収納状況についてご説明申し上げます。

資料の表面は、小学校の4月から12月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧となっております。右下にございます収納率は「99.81%」でございます。

また資料の裏面は、中学校の一覧となっており、収納率は「98.84%」となっております。

このページの右下が、今年度12月までの、小中学校を合算した「まとめ」でございます。収納率は「99.46%」、未納額は「1,181,428円」でございます。

現在のところ、収納状況につきましては、概ね順調に進んでいるところでございます。

なお、3学期の学校給食は1月11日からスタートしております。

次に総合教育会議につきましてご説明させていただきます。

教育委員の皆様には、既に開催のご案内をお渡ししたところでございますが、1月30日（火）に総合教育会議をこの会場で開催いたします。

総合教育会議につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置されるものでございまして、市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について「協議」「調整」を行う会議でございます。

(2) 新設小学校校名募集の結果について

新設小学校の校名募集につきましては、既にご案内のとおりでございますが、昨年11月10日から12月11日までの期間中に実施をいたしました。

その結果、合計で559件の応募があったところでございます。内訳といたしましては、児童生徒が273件、保護者・教職員が47件、その他の市民等が239件と大変多くなっております。また、3の応募方法別の応募数では、「学校から」が285件「学務課へ直接持参」が200件、「(スマートフォンからの)電子申請」が71件、「ファクシミリ」が2件、「電子メール」が1件、ございました。4の「応募があった校名」につきましては、「10件以上の応募があった校名」を記載しております。この他に応募があった校名につきましては、この後でご説明いたします。一番多かったのが「垢小学校」で219件ございました。ただし、児童生徒からの応募は15件、保護者・教職員が4件、その他が200件ございまして、その他は一般の方からの応募が大半を占めている状況ございました。この応募者の区分毎の件数は、この後でご説明いたします。

また、「垢川小学校」が21件、「花桃小学校」が19件、「八潮小学校」が18件、「古新田小学校」と「桜橋小学校」がそれぞれ10件ございました。

5の今後の流れにつきまして、先にご説明いたしますが、1月10日に開催いたしました「学校教育審議会」におきまして、校名の候補を5点程度に絞ることを予定しておりました。審議の結果、校名の候補を「花桃小学校」「茜小学校」「垢小学校」「八潮小学校」の4点に絞られました。

今後、大曾根小、大瀬小、潮止中の児童生徒に、この4点の校名の候補を対象に投票をしていただきたいと考えております。さらに、その後の学校教育審議会におきまして、「校名」についての答申が出される見込みとなっております。

次に、資料の2ページをご覧ください。

こちらは、学校教育審議会における投票結果の一覧でございます。点数では、第1位の「花桃」が178点、第2位の「茜」が122点、第3位の「圻」が111点、第4位の「八潮」が110点でございます。その次は、第5位「かはやき」の54点でございます。第4位の「八潮」とは倍以上の開きがあったということで、議論の結果、第4位の「八潮」までを候補とすることとなりました。

また、この投票要件につきましては、下の枠の中に記載がございますが、まず、審議会の各委員が無記名で新設小の校名にふさわしいと思われる校名の候補を3点程度選び、その3点程度選んだ校名に対しまして、選定基準毎に「5点」「3点」「1点」の点数を付けていきました。そして、校名毎に点数を合計していきまして、記載の順位となったものでございます。

このような点数付けなどの進め方につきましては、当日の審議会で協議の上、決定されたものでございます。

続きまして、資料の3ページをご覧ください。こちらの資料は、「校名集計表①」といたしまして、「校名」「ふりがな」「応募者の区分」とその件数でございます。ご覧いただきますと、「圻」の「3その他」が200件と突出しているのがわかるかと存じます。この資料がページ番号で19ページまでございまして、後半の応募件数は、一つの校名に対して一つの応募、といったような状況でございます。

また、20ページ以降は、「校名」「ふりがな」「その校名を応募した理由」をまとめたものでございます。この「応募した理由」につきましては、じっくり見てまいりますと、本当に、真剣にお考えいただいた方が大変多いな、と感じたところでございます。こういったことで、今年度末までに、先ほどもご説明いたしました、大曾根小、大瀬小、潮止中の児童生徒に、この4点の校名の候補を対象に、投票をしていただきたいと考えております。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和5年12月・令和6年1月の事件・事故報告について

事件・事故報告は3件、内訳は、虐待の疑いが1件、いじめが1件、交通事故が1件でございます。

いじめはSNS上で発生したものでした。学校で対応がしきれないものだったため、保護者が警察に被害届を提出し、現在警察が対応をしているところでございます。交通事故については大きな怪我ではなかったとの報告を受けております。

引き続き校長会と連携を取りながら未然防止等に努めて参りたいと思います。

(2) 令和5年度卒業証書授与式・令和6年度入学式について

日程は資料の通りでございます。開催時間は現在学校に確認を取っておりますので、確定しましたら改めてお渡しさせていただきます。

(3) 「八潮の教育」合同報告会2023 ～小中一貫教育ではばたく児童生徒～ について

2月14日(水)にオンラインで開催予定です。内容につきましては、子ども夢大学の活動報告、子ども防災マイスターの活動報告、八條中ブロックの研究発表会の報告、いじめ撲滅の指導案に基づく実践報告、松之木小学校の学力向上に係る実践報告、秋田県小坂町の相互研修報告でございます。

●松本学校 ICT 推進課長

(1) 八潮市 GIGA スクール通信 (第 43 号) について

この号より、端末で見ることを想定し、様式を縦版から横版に変更しています。

この43号では、12月1日に松之木小学校において実施しましたGIGAスクール構想公開授業・研修協議会について取り上げております。

当日は松之木小学校平野先生の2年生の算数の授業を公開授業とし、GIGA端末を活用しながら、長方形と正方形の特徴等に関する学習を行っており、学習の進捗の場面ごとに授業の様子を紹介しております。

今回の公開授業では、児童が家庭で学習内容を予習してから授業に臨み、授業では予習内容に基づいた説明を行う反転学習を取り入れ、事前に先生が作成した2分程度の動画を各自自宅で見ながらの授業となっており、この点でも新たな学習方法に取り組んだものとなっております。

なお、当日は埼玉県教育委員会ICT支援担当の保坂指導主事に授業の講評をしていただき、今回の公開事業について、反転学習の取り組みを含め評価をいただきました。

この反転学習のほかにも、一つの教室内で単一の授業を行うのではなく、児童生徒がそれぞれの理解度や進捗に合わせて、いくつかのグループに分かれて異なる学習内容や活動を同時に実施する複線型授業についてもご紹介があり、これらの先進的な授業の実施に際してはGIGA端末が非常に有用であって、GIGA端末の活用は単なる学習コンテンツのデジタル化に留まらず、根本的な授業形態の刷新まで可能にすることを先生方に印象付ける貴重な機会となりました。

当日公開授業に参加できなかった先生方にも、このGIGAスクール通信により、当日の授業の様子について周知を図ってまいりたいと考えております。

(2) 学校管理職（校長職）対象ICT活用研修会について

この研修は校長先生方を対象としたICT活用研修会として、Googleの渋谷事業所のオフィス見学と、現地で研修を受講したもので、当日は教育長と14名の校長先生方にご参加いただきました。

報告資料にありますとおり、Googleのオフィスは非常に洗練されておりまして、いかにして社員の生産性、独創性を高めるかを第一優先に考えられていて、極めて手厚い福利厚生が図られたオフィスとなっております。

オフィス見学後、グーグルの教育部門の日本統括責任者の方が講演をしてくださり、GIGA導入前の教育を「砂利道と手押し車」に、GIGA導入後を「舗装路とコンパクトカー」に例えるなど、先端IT企業ならではの印象的な説明がされておりました。

その他にも、ICTの推進に必要な管理職のマインドとして、組織の心理的安全性の確保、unlearn（学びほぐし）などの概念についての研修もあり、校長先生方も熱心に話を聞いておられました。

このような最先端のIT企業のオフィスを直接見学し、研修を受講することはそうある体験ではなく、今回は非常に貴重な機会になったと考えております。

なお、今回の研修は校長先生方が対象でしたが、教頭先生方向けに同様の研修を1月26日に実施する予定となっております。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○加藤教育長職務代理者

子ども防災マイスターについて、先日三郷市の出初式に行った際に防災マイスターの子どもたちが活躍する姿を拝見しました。八潮市では防災訓練以外に活躍の場はあるのでしょうか。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

ブラッシュアップ研修の通知は毎年送付し、参加できる児童生徒には参加をしてもらっています。その他、各学校での避難訓練で子どもたちの活躍の場を設けるよう各学校へは依頼をしております。

○木下委員

新設小学校の今後の対応について、参加できる業者を増やすとありますが、具体的にどのように増やすのでしょうか。

●柳町教育総務課長

例えば、応募要件として事業所の本店や支店の居所を埼玉県内のみ限定せず、東京都を加えるといった対応になります。こうすることで事業所数の分母が増え、参加できる業者が増えると考えております。

○木下委員

昨年合唱祭を観覧させていただいたときに気になったことですが、今は女子生徒でもスラックスの着用が認められている中で、八條中学校のセーラー服をブレザーに変更することはできないのでしょうか。

○井上教育長

過去に潮止中学校の制服を変更するタイミングで八條中学校の制服も変更する話が出ていましたが、様々な事情があり変更することが出来ませんでした。

市内で統一したほうが良いという意見が出ていたり、全国的にみると制服を廃止している自治体もごぞいます。最終的には校長先生の判断となりますので、校長先生方には引き続き検討を進めて頂きたいと思います。

○高橋委員

入試の関係についてですが、今の中学3年生の進路希望は私立と公立でどのくらいの割合になっているのでしょうか。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

昨年度と大幅に変化はないと思いますので、昨年度の進学実績で回答させていただければと思いますが、昨年度の卒業者が682名で、公立に合格した生徒が433名なので、約63%が公立高校へ進学しております。

八潮市では98～99%が高等学校に進学しておりますので、その他の約37%の生徒が私立学校や通信学校に進学しています。

○木下委員

子どもたちは進路の希望先をどのように決めているのでしょうか。

●猪原学校教育部長

学校からも情報を提供していますが、今は子どもや保護者がインターネットで調べて情報を得ていることが多いです。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。